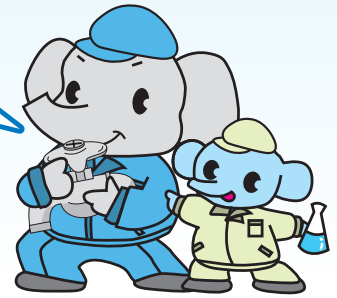


水道の泉

まだ雪降るのかな？



水道豆知識 vol.3 〈おいしい水編〉



私たちが飲んでいる水道水っておいしいの？

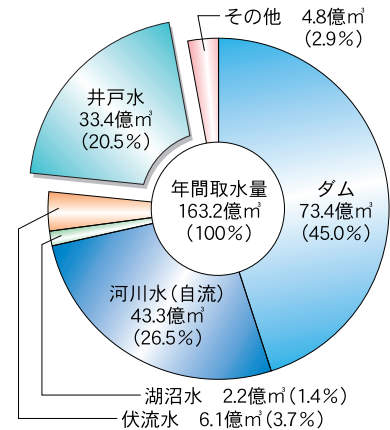
全国の水道事業者の約80%が河川水・ダム用水を水源とし、何度もろ過(ごみを取り除く)し、水道水となっています。

しかし、みなさんが飲んでいる水道水は、地下約150mの井戸から汲み上げた地下水をほぼ塩素消毒のみでお届けしています。地下水は、山に降った水が長い年月

をかけて、豊かな森林の土壌や地層を流れている間にろ過されます。さまざまなミネラル分を含んだ水で、栄養分が多いのが特徴です。

このように、私たちの水道水はほぼ自然なままのきれいな水なのです。

※私たちの水道水は、右図の「井戸水」にあたります。



全国の水道水源(平成17年度) JWVA調べ

おいしい水ガイドライン(厚生労働省おいしい水検討会)

成分	説明	おいしい水の条件	私たちの水道水
蒸発残留物 <small>じょうはつざんりゅうぶつ</small>	主にミネラルの含有率を示し、量が多いと苦味が増し、適度に含まれるとまろやかな味がする。	30~200mg/ℓ	129mg/ℓ
硬度 <small>こうど</small>	ミネラルの中で量が多い、カルシウム・マグネシウムの含有率を示す。硬度の高い水は好き嫌いがあ、低い水はくせがない。	10~100mg/ℓ以下	50.9mg/ℓ
有機物 <small>ゆうきぶつ</small>	多量に含むと水の味を損なう。	3mg/ℓ以下	0.5mg/ℓ以下
残留塩素 <small>ざんりゅうえんそ</small>	殺菌のため加えられた塩素の量で、水にカルキ臭を与え、濃度が高いと水の味がまずく感じる。	0.4mg/ℓ	0.3mg/ℓ
水温 <small>すいおん</small>	冷やすことにより、おいしく飲める。	20℃以下	約18℃

私たちの水道水は塩素が少なく、適度にミネラル分がある、まろやかでおいしい軟水になります。



塩素って必要なの？

水道水の塩素(カルキ)臭をきらい、浄水器を使用する人が増えていますが、みなさんは塩素のはたらきをご存知でしょうか。

塩素剤には、飲料水に欠かせない「消毒」のはたらきがあり、水道法で定められている0.1mg/ℓ以上の塩素が含まれていて、病原性

大腸菌O157などの病原菌を死滅させる役割を果たしています。

きらわれている塩素ですが、私たちにとって大事なはたらきをしています。

みなさんも塩素剤の効果を考えながら、水道水を使用してください。

